



宮城学院中学校高等学校

自然科学班

宮城県仙台市青葉区桜ヶ丘9丁目1-1

「サンショウウオ保護プロジェクト」

耕作放棄地の自然再生法の研究



Action

宮城の自然は持続可能なのだろうか。それは、いったいどのようにして知ることができるのだろうか。そこで、私たちは、生存力が弱く、水辺と陸地が必要で、しかも山と海の間で暮らしている両生類がバロメーターになると考えた。私たちの調査では、緑豊かで自然が残されている仙台市内の公園において、この20年で両生類、特にサンショウウオの仲間は、ほぼ絶滅したのではないかと推測される。そこで、調査範囲を広げてみたところ、数か所の小さな水辺で、サンショウウオの仲間が生息していることを確認した。

林道脇の水たまり、耕作放棄水田脇の水路、営林署の人や地元の人ですら見過ごしていたサンショウウオたちである。観察調査するだけでは、20年後にはきっと絶滅してしまうと予測した。そこで、どうすれば良いのか検討した。その結果が、耕作放棄地の自然再生である。地権者の方、水利組合の方の了解を得て水辺の環境整備から始めている。